



平成25年12月13日
多摩市立豊ヶ丘小学校
校長 小林 佳世
栄養教諭 早乙女 理恵
No.24

12月に入って、食育も最後の追い込みです。野菜を収穫して食べたり、お餅つきをしたり、焼きいもなどをする予定になっています。

3年生総合的な学習の時間「多摩市の野菜を給食に」

3年生は社会科で多摩市の勉強をしています。多摩市にもまだ農家がありますが、年々規模が小さくなっているようです。毎日の農作業の合間を縫って、12月3日に今年も2人の方ができた作物をたくさん持って、学校に来てくださいました。



調理所では、毎月地場産物を給食に使っています。献立表の献立名と材料名が太字になっているところが地場産物です。今月は大根、長ねぎ、白菜、小松菜、みそを使



います。どうぞ献立表を見て、「今日は多摩市の野菜を使うよ」などと声をかけてください。

子どもたちは、ずらっと前に並んだ新鮮な野菜を手



にとって、匂いをかいだり重さを比べてみたり・・・農家の方に質問もたくさんしていました。その1週間後、南野調理所に見学に行きました。2階から調理場を眺めると、ちょうど大きな釜で料理をしていたり、魚を焼いていた、揚げていたりしていました。下からも調理員さんが手を振ってくれました。「今作っている物が、今日の給食に出てくるものだからね」というと少し驚いた様子。今までは何となく給食を食べていたのですが、実際に作っている場面を見ると量の多さや器具の大きさに驚き、これを食べるのだという実感がわいてきたのでしょうか。給食の時間に、高野豆腐の卵とじが自分の皿の上に乗ると「さっき会ったね」「また会えたね」と声をかけている姿がクラスで見られたようです。いつまでも食べ物を楽しめる気持ちを忘れないでほしいです。そして暑くても寒くても、おいしい作物を作っている農家の方、おいしい給食を作ろうと頑張っている調理員の方の姿を忘れずに、感謝して食べてほしいと思います。

2階から調理室を望む



高野豆腐を盛り付けているところ



実際に大豆で盛り付け体験！大きな器具を持って大はしゃぎ

